



授業参観 あいがとうございました（ホームページにカラー版が掲載されています）

本年度4回目となる授業参観でした。厳しい寒波が来て、寒い中にもかかわらずたくさんの保護者の方に来ていただき、ありがとうございました。

保護者の方もお気づきだと思いますが、本校では2学期から3年生～5年生は机の並び方をグループ形式にしました。（6年生は昨年の秋から実施しています。）2年生はコの字になっています。1年生は発達段階を考えて、授業内容にあわせてペアやグループで活動を取り入れています。



↓グループやコの字にすると、○の中のような場面をよく見るようになります。↓



授業を今のような形にして、わからないことがあれば友だちに聞いたり、教えてもらったりして、子どもたちが活動する時間を多くとるようにしています。お家でも、子どもたちがわからないことがあった時に、大人がすぐに答えを教えるのではなく、一緒に考えたり、自分の考えを言わせたりして、自分でする場面を増やしていただけると、学校が取り組んでいる授業の方向と一致し、好循環していくと思います。

次に、このような場面も見たいと思います。（今回の授業参観で学年によっては ICT 端末を使いませんが、普段の授業ではよく使っています。）

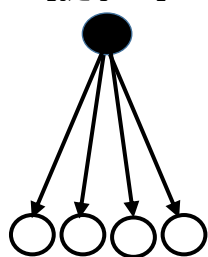


今は、子どもたち一人に一台の ICT 端末があり、ICT 端末を使う場面が、どんどん増えてきています。しかし、最近は利用の仕方が大きく変わってきました

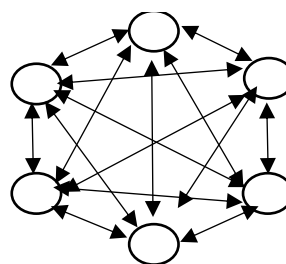
以前は先生が写真や動画を見せる等「提示をするための ICT 端末」という使い方が多かったですが、今は、ネットワークを使って、子どもたちが自分で調べたり、友だちの考えを見たりしながら一緒に課題に取り組むような「子どもたち同士をつなぐための端末」という利用の仕方に変わってきています。それを「他者参照」と言って、友だちの調べたことや考えたこと参考にしていくという使い方です。

≪ICT 端末の利用の仕方の変化≫

【提示型】



【他者参照】



この「他者参照」で気を付けなくてはいけないことは、友だち（他人）の考えをコピーして終わってしまうことです。「他者参照」の目的は、「他の情報を見て、自分なりの新たな考えをつくっていく」ことです。お家でも、子どもたちが分からないことがあったら一緒に調べて、最後に「自分はどう思ったの?」「そう思った理由はなんでなの?」の聞いてあげて、自分の考えを言える習慣をつけてあげてください。

このような ICT 端末の利用の仕方を通して、座って授業を聞く受け身的な学習ではなく、子どもたちが主体的となる活動を増やして、「自律（自立）した学習者」の育成を目指していきます。

● 1 年生の授業参観の大縄跳びでは、保護者の方に縄を回してもらいました。

